

平成29年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取り組んでいます。平成29年度の収納状況は、次の表のとおりです。

収納実績は、調定額 5,841,042千円に対し、収入済額は 5,534,535千円、不納欠損額 19,859千円、収入未済額 286,648千円、合計収納率は 94.75%となり、特にも現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.49%を 0.39ポイント上回る 97.88%、滞納繰越分の収納率は、29.0%を大きく上回る42.36%でした。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 104,843千円の増、滞納繰越分で 11,082千円の減、合計で 93,761千円の増となりました。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち6科目で合計が前年度以上となりました。主なものは、国民健康保険税が1.66ポイント、保育料が 1.28ポイント、住宅使用料が0.91ポイント、市税が0.86ポイントそれぞれ上回りました。一方、奨学資金が 0.49ポイント下回りました。

収入未済額の各科目の合計は 286,648千円となり、収納率の向上により前年度に比較して 43,193千円の減となりました。市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約7割を占めていますが、その額は前年度に比較して 39,283千円の減となりました。

平成29年度収納実績

(単位：千円、%、Pt)

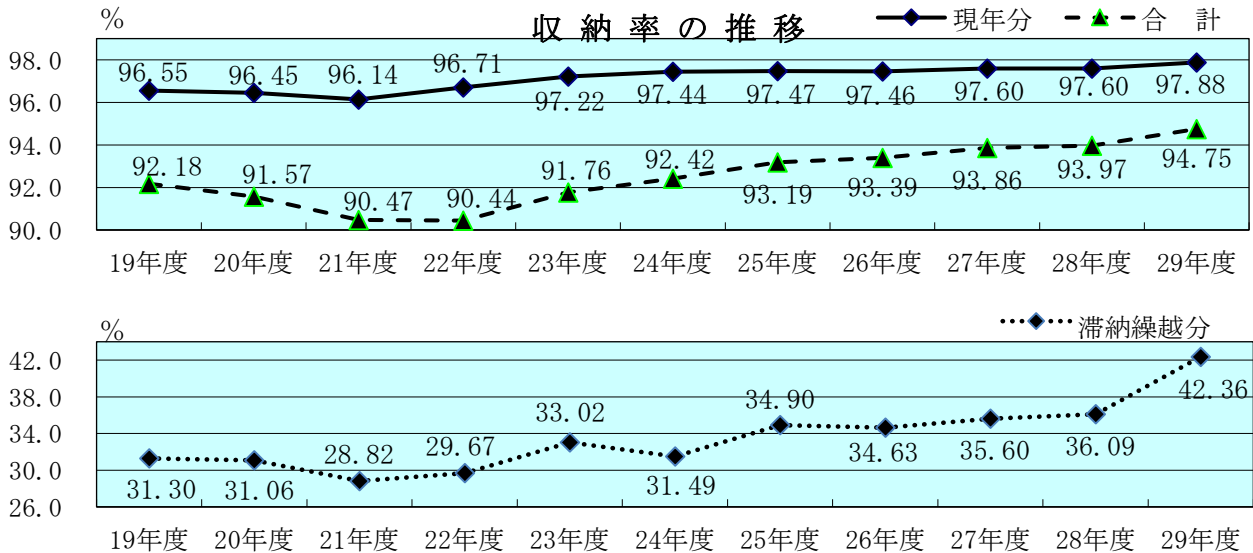
収入科目	年度	平成29年度				平成28年度		収納率比較 (29-28)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		2,873,605	2,769,986	8,599	95,020	96.39	115,696	95.53	0.86
保育料		105,570	100,994	458	4,118	95.67	5,849	94.39	1.28
住宅使用料		105,211	87,190	0	18,021	82.87	19,527	81.96	0.91
奨学資金		53,759	45,890	0	7,869	85.36	7,716	85.85	△0.49
学校給食費		98,227	98,227	0	0	100.00	17	99.98	0.02
国民健康保険税		640,663	532,338	8,306	100,019	83.09	118,626	81.43	1.66
後期高齢者医療保険料		202,415	201,620	0	795	99.61	670	99.64	△0.03
介護保険料		595,351	586,513	2,367	6,471	98.52	6,980	98.43	0.09
ケーブルテレビ使用料		349,691	349,413	12	266	99.92	275	99.92	0.00
農業集落排水 下水道事業		163,627	162,603	22	1,002	99.37	929	99.38	△0.01
水道料 (企業会計3月末)		652,923	599,761	95	53,067	91.86	53,556	91.87	△0.01
合計 ①	現年度分	5,512,322	5,395,280	74	116,968	97.88	129,536	97.60	0.28
	滞納繰越分	328,720	139,255	19,785	169,680	42.36	200,305	36.09	6.27
	計	5,841,042	5,534,535	19,859	286,648	94.75	329,841	93.97	0.78
前年度 実績 ②	現年度分	5,407,479	5,277,943	0	129,536	97.60			
	滞納繰越分	339,802	122,623	16,874	200,305	36.09			
	計	5,747,281	5,400,566	16,874	329,841	93.97			
前年度 比較 ①-②	現年度分	104,843	117,337	74	△12,568	0.28			
	滞納繰越分	△11,082	16,632	2,911	△30,625	6.27			
	計	93,761	133,969	2,985	△43,193	0.78			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。
収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

平成29年度における現年度分の収納率は、前年度に比較して0.28ポイントの増となり、3年続けて前年度以上を保つ結果となりました。また、滞納繰越分の収納率は42.36%となり、前年度に比較して6.27ポイントの増となり、3年続けて前年度以上となりました。

合計の収納率は94.75%となり、前年度より0.78ポイント向上し、7年連続で合計収納率が前年度を上回りました。



(3) 不納欠損の状況

市税と国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が1,105件・9,701千円、執行停止3年による消滅が931件・6,442千円、徴収不可による消滅が81件・762千円、合計では2,117件・16,905千円となりました。

市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、316件・2,954千円で、主なものは、介護保険料が214件・2,367千円、保育料が50件・458千円となりました。

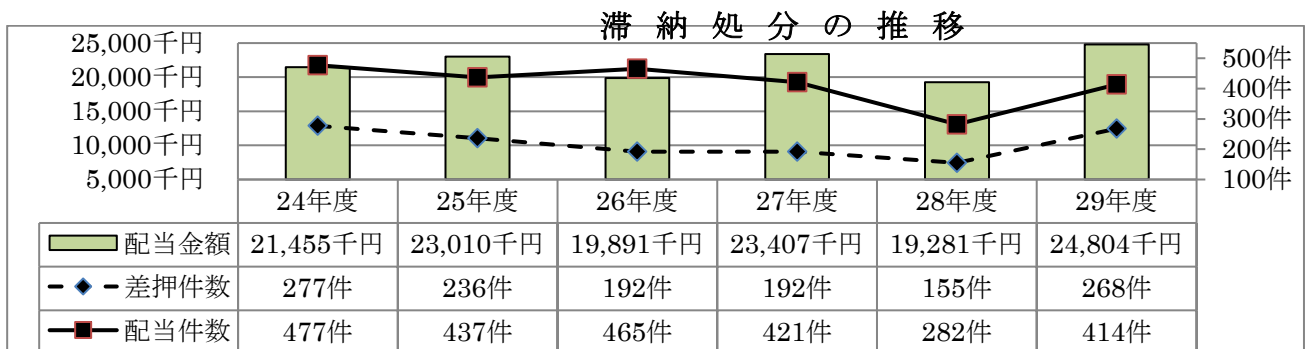
2 平成29年度の収納対策の取組み

(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を4月、7月、11月の年3回実施し、その各翌月を徴収強化月間と位置づけ、担当部課長等又は応援部課長等と担当者による臨戸催告を実施しました。

(2) 滞納処分状況

最近6年間における差押件数、配当件数及び配当金額は、次の表のとおりです。



(3) その他の収納対策

税務課窓口のテレビ画面やチラシ等の紙面を通じ、納期内納付の啓発活動を行いました。

また、関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を図りながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めました。なお、市税においては、岩手県地方税特別滞納整理機構と連携し、検索・公売を実施しました。